

2017年11月16・17日

「3年 自然教室」

秋の合宿

秋も深まり、寒くなってきましたが、暖かい日差しを感じながら過ごしました。



コカブの収穫をしたり、秋の虫探しをしたり、元気いっぱい動きまわりました。
コカブは夕飯のけんちん汁の具にもなりました。



午後は「豆腐作り」です。国語の「すがたをかえる大豆」を学習している子ども達は、大豆が変化していく様子に興味津々に見ています。特に、にがりを入れて豆乳が豆腐へと変化する場面では、「おお〜！」と声を上げていました。そして、できたての豆乳、おから、豆腐を全て試食しました。



作ったお豆腐は、お母様方がけんちん汁にして下さいました。
たくさんあったけんちん汁ときのご飯をみんなで完食しました！
温かくて美味しいお食事をお腹いっぱい頂いて、みんな幸せいっぱいの笑顔でした。

2日目も元気に起床。

きりりと引き締まった冷たい空気を吸いながら、
みんなで周辺の畑の様子を見ながら散歩しました。



そして、朝食を頂いた後、お昼のポトフを作りました。

おうちの方にお迎えに来ていただくのも、今回の合宿で最後。
おうちの方に感謝の気持ちを込めながら、「野菜ゴロゴロたっぷりポトフ」を作りました。



お迎えに来てくださったおうちの方に合宿での出来事を報告し、
みんなで「切手のないおくりもの」のメロディーに乗せて、3年分のありがとうを伝えました。
そして、前日の夜に心を込めて書いた手紙を渡しました。



その後、おうちの方とみかん狩りを楽しみ、お昼は温かいポトフを一緒に頂きました。

解散後、大きな荷物を背負い元気に帰って行く子ども達の姿に、
たくましくなったその成長を感じながら見送りました。

秋の自然を感じ、秋の食を感じ、様々なお恵みに感謝した合宿でした。